

この時計の特長

この時計は、以下の機能を備えています。

◆携帯電話と通信できます

Bluetooth® 対応の携帯電話と接続し、通信することができます。

モバイルリンク機能

◆歩数計として使えます

歩数をカウントします。目標歩数を設定すれば、目標まであとどれくらいか、大よその割合をグラフィックで知ることができます。

歩数計機能

◆ストップウォッチとして使えます

経過時間を計測できます。ターゲットタイム(目標タイム)を設定できます。また、ラップタイム/スプリットタイムを最大200本まで記録できます。

ストップウォッチモード

◆タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間の5秒前から電子音でお知らせします。複数のタイマー時間を繰り返し計測するよう設定すれば、セットレーニングの時間配分に役立ちます。

タイマーモード

◆2つの時刻を表示できます

現在時刻とは別に、海外時計などもう1つの時刻を表示できます。

デュアルタイム機能

◆アラームを設定できます

設定した時刻になると、電子音でお知らせします。

アラームモード

製品仕様

精　　度：携帯電話との通信による時刻合わせができない場合は、平均月差±15秒

基本機能：アナログ部
時・分(20秒運針)
デジタル部
時・分・秒・月・日・曜日、午前/午後(P)/24時間制表示、フルオートカレンダー(2000～2099年)
サマータイム設定

歩数計機能：3軸加速度センサーによる歩数計測
歩数表示範囲　0～999,999歩
ステップインジケーター表示
歩数グラフ
歩数リセット
毎日0時に自動リセット
手動リセット
目標歩数設定機能
歩数設定単位 1,000歩
歩数設定範囲 1,000～50,000歩
歩数精度
±3% (振動試験機による)
パワーセービング機能

ストップウォッチ機能：計測単位 1/100秒(1時間未満)
1秒(1時間以上)
計測範囲 23時間59分59秒
通常計測、積算計測、ラップタイム/スプリットタイム計測、計測データを200本メモリー
ターゲットタイム報知機能
最大10本設定、設定時間に電子音で報知(10秒間)

タイマー機能：計測単位 1秒
計測範囲 60分
インターバル数 1～5本
オートリピート数 1～20回
時間セット単位 1秒
時間セット範囲 1秒～60分
予告音5秒間とタイムアップ音で報知
オートスタート機能

デュアルタイム機能：ホームタイムとの時刻入れ替え機能

アラーム機能：時刻アラーム
アラーム数 5本
セット単位 時・分
アラーム報音時間 10秒間
時報 毎正時に電子音で報知

◆時刻を設定する

① **㊸** ボタンを約2秒間押し続けて、時刻モードに入します。

② **㊸** ボタンを約2秒間押し続けます。

- 目標歩数が点滅します。

③ **㊸** ボタンを押して、「秒」のセット画面にします。



④ **㊸** ボタンを押して、「秒」を00にリセットします。

- 30～59秒のときは1分繰り上がります。

⑤ **㊸** ボタンを押して、「時」を点滅させます。

⑥ **㊸** または **㊹** ボタンを押して、「時」をセットします。

⑦ **㊸** ボタンを押して、「分」を点滅させます。

⑧ **㊸** または **㊹** ボタンを押して、「分」をセットします。

製品仕様

モバイルリンク機能：自動時刻修正機能
決まった時刻に自動で時計を合わせる

ワンタッチ時刻修正
手動で接続して時刻を合わせる
携帯電話探索機能
時計操作により、携帯電話の音を鳴らさず
ワールドタイム
約300都市の時刻を時計に設定する
ホームタイム/ワールドタイムの時刻入れ替え機能
歩数データ転送機能
計測データ(歩数、カロリー)
ストップウォッチデータ転送機能
計測データ200本(計測年月日時刻、ラップ/スプリットタイム、ラップ番号)
サマータイム自動切り替え機能
スタンダードタイム/サマータイムを自動で切り替える
タイマー設定
アラーム設定

モバイルリンク機能：針位置補正機能
通信仕様

Bluetooth®
周波数帯域 2400MHz～2480MHz
最大送信電力 0dBm(1mW)
通信距離 ～2m(環境により変化)

その他：高輝度LEDライト、ライト点灯時間切り替え、オートライト、操作音ON/OFF、針退避機能、電池切れ予告機能

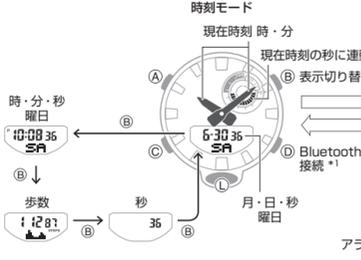
使用電池：CR2016 1個(電池別送販売)
電池寿命 約2年
使用条件：
自動時刻修正 4回/日
アラーム 1回(10秒間)/日
ライト点灯 1回(1.5秒)/日
歩数計測 12時間/日

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

時計の使い方

◆モードを切り替える

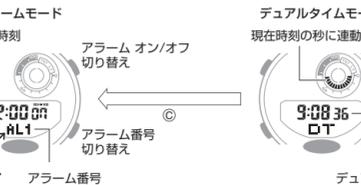
- ボタンを押すごとに以下のようにモードが切り替わります。
- ㊸ボタンを約2秒間押し続けると、時刻モードに切り替わります。



***1** ㊸ボタンを約2秒間押し続けると、時計と携帯電話をBluetoothで接続します。

***2** ㊸ボタンを約2秒間押し続けると、時刻モードの時刻とデュアルタイムモードの時刻を入れ替えます。

どのモードでも㊸ボタンを押すと、ライトが点灯します。



ご使用上の注意

■防水性

●防水時計は時計の表面または裏面に「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏面に表記	「BAR」表記無し	日常生活用防水	5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
常用例	洗顔、雨	×	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○	○
	ウインドカーフィン	×	×	○	○	○
	スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○	○

●専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）での使用はお避けください。

●時計の表面または裏面に「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防水構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所での使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

- 防水性能の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
【水中で】および「時計に水分がついた状態」で
りゅうずやボタンを操作すること
入浴のときに使用すること
温タオルやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
時計を手につけたまま手洗い/洗顔/家事などをすると、石鹸や洗剤を使うこと
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。

- 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なバックン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態での水仕事・水泳など直接水のかかご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによて曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかたくは易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や粉砕、けがの原因となります。バンドは常に手入れをしてお手入れを清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、腫み、接合部ピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご使用上の注意

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ショック

●通常の使用状態でショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/BABY-G/G-MS）は額につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

●アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づくとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

●極度に強い磁気（医療機器など）は振動や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかな布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態で使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかな歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかな吸水性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかな布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかな布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期操作しないとき動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■お手入れを怠ると

- （さび）**
時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分が鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、「調理用ラップを巻く」などして、修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出て、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

（劣化）

●樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

（かぶれ）

●皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめに手入れをしてください。万一、かぶれた場合は、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門店にご相談ください。

ご使用上の注意

- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくとし色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スクルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

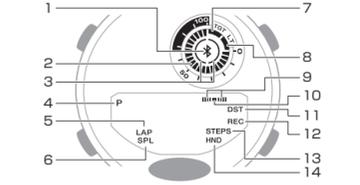
■皮革バンドについて

●長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/BABY-G/G-MS）は額につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗を付いたときや水に濡らしたときは、柔らかな吸水性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかな歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかな吸水性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

◆画面の表示について



- 携帯電話と接続中
- グラフィック表示
- ステップインジケーター表示
- 午後12点灯（午前は消灯）
- ラップタイムを表示中
- スプリットタイムを表示中
- ターゲットタイム報知機能が動作中
- オートライトをオンに設定済み
- アラームをオンに設定済み
- 時報をオンに設定済み
- サマータイム時刻を表示中
- リコールモードで点灯
- 歩数表示中
- 針が退避中



https://support.casio.jp/wat/manual/5555_ja/

■液晶表示について

●液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

■データ保護について

- 電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

■センサーについて

●本機のセンサーは精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を強い棒などでついたり、ゴミ・ほこりなどが入らないようご注意ください。なお、海水に浸したときは、必ず真水で洗い流してください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「修理お申込み先」において「保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「修理に関するお問合せ先」へお問い合わせください。
※中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

